

青森県 中小企業景況調査報告書

【平成30年7月～9月】

目 次

I 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 回収状況	1

II 要 約

1. 今期の景況	2
2. 来期の見通し	2

III 概 況

1. 業況判断	6
2. 売上の動向	7
3. 輸出の動向	8
4. 製品・商品在庫の動向	8
5. 価格の動向	8
6. 経常利益の動向	9
7. 金融の動向	9
8. 雇用の動向	10
9. 設備投資の動向	11
10. 経営上の問題点	12

平成 30 年 11 月

青 森 県 商 工 会 連 合 会

I 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成30年9月1日
(2) 調査対象期間 平成30年7～9月期実績及び平成30年10～12月期見通し
について調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業、卸売業については、資本金1億円以下又は従業員100人以下の企業、小売業については、資本金5千万円以下又は従業員50人以下の企業、サービス業については、資本金5千万円以下又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(なお、各産業のうち「小規模」とあるのは、製造業及び建設業における従業員20人以下の、卸売業、小売業及びサービス業における従業員5人以下の企業規模を指し、その他は「中規模」と区分した。)

3. 調査方法

原則として、青森県の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。

4. 回収状況

286企業のうち、258企業の回答を得た（有効回答率 90.2%）。

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	53	(18.5)	49	(19.0)	92.5
建設業	35	(12.2)	33	(12.8)	94.3
卸売業	20	(7.0)	17	(6.6)	85.0
小売業	78	(27.3)	68	(26.4)	87.2
サービス業	100	(35.0)	91	(35.2)	91.0
合計	286	(100.0)	258	(100.0)	90.2

注：()内は構成比 (%)

Ⅱ 要 約

1. 今期の景況

平成30年7～9月期の全産業の業況判断DI（前年同期比「好転」－「悪化」）は、前年同期（平成29年7～9月期）の△18.2に対して△16.5と僅かながらに上向いた。産業別に見ていくと、製造業が、前期△21.6から△16.3と上向いた。サービス業も前期△14.8から△11.3とやや上向いた。小売業は前期△40.6から大幅に回復し△25.0となった。建設業は△3.0から△6.2とやや下落、卸売業は前期△20.0まで持ち直したが、今期は△29.5と再び下落した。

全産業の業況水準判断DI（今期の水準「良い」－「悪い」）は、前年同期（平成29年7～9月期）の△23.9、前期（平成29年4～6月期）の△23.7と比べて、今期は△18.3と好転した。産業別では、前期と比べて大幅に好転したのは、製造業（△34.0→△20.9）と建設業（△6.1→6.1）であり、やや好転したのがサービス業（△13.6→△7.7）であった。卸売業（△24.9→△23.5）は前期並みの水準であった。小売業が前期△38.1から今期△41.8と前年度同期（△40.5）並みに落ち込んだ。

売上額DI（前年同期比「増加」－「減少」）においては、全産業では前年同期△23.2、前期△29.8から今期△20.6と好転した。産業別では、前期と比べて好転したのは、製造業（△35.3→△18.4）、建設業（△15.7→△3.0）サービス業（△28.1→△15.6）であり、やや回復したのが小売業（△36.6→△32.4）となった。大幅に下落したのは卸売業（△18.7→△41.3）であった。

経常利益DI（前年同期比「好転」－「悪化」）においては、全産業では前年同期△17.5であったが、前期の△25.0に対して今期は△21.5とやや好転した。前期と比べて産業別に見ていくと、製造業（△34.7→△20.8）、建設業（△21.2→△12.1）が大きく好転した。小売業（△32.9→△32.4）とサービス業（△17.7→△15.5）はほぼ横ばいであった。再び落ち込んだのは卸売業（△12.5→△29.4）である。

(注) DIとは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から、「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

なお、前期比（季調済）は、X12-ARIMA (X11デフォルト) により季節調整を行った値である。

2. 来期の見通し

ここ1年の傾向を業況判断DI（前年同期比「好転」－「悪化」）で見えていくと、上下の変動はあるものの、建設はやや好調を維持、製造業とサービス業がほぼ横ばい、卸売業の上下が著しく、低い水準ながらも小売業が徐々に上昇しつつある。全産業の経常利益DIにおいては、前年同期比「好転」－「悪化」は大きな変動はないが、今期の水準（「黒字」－「赤字」）では、前期3.4、今期3.9と2期連続で好調な結果となり、好況への兆しが確認できた。

来期については、依然として続く人手不足感の中、労働人口の推移と好況感によって、一層の人手不足に拍車がかからないような対策（潜在的な労働力の掘り起こし、柔軟な勤務体系や処遇の整備、求人対象と業務の内容や範囲のマッチングなど）が求められる。

Ⅲ 概 況

全産業（平成30年7～9月期）

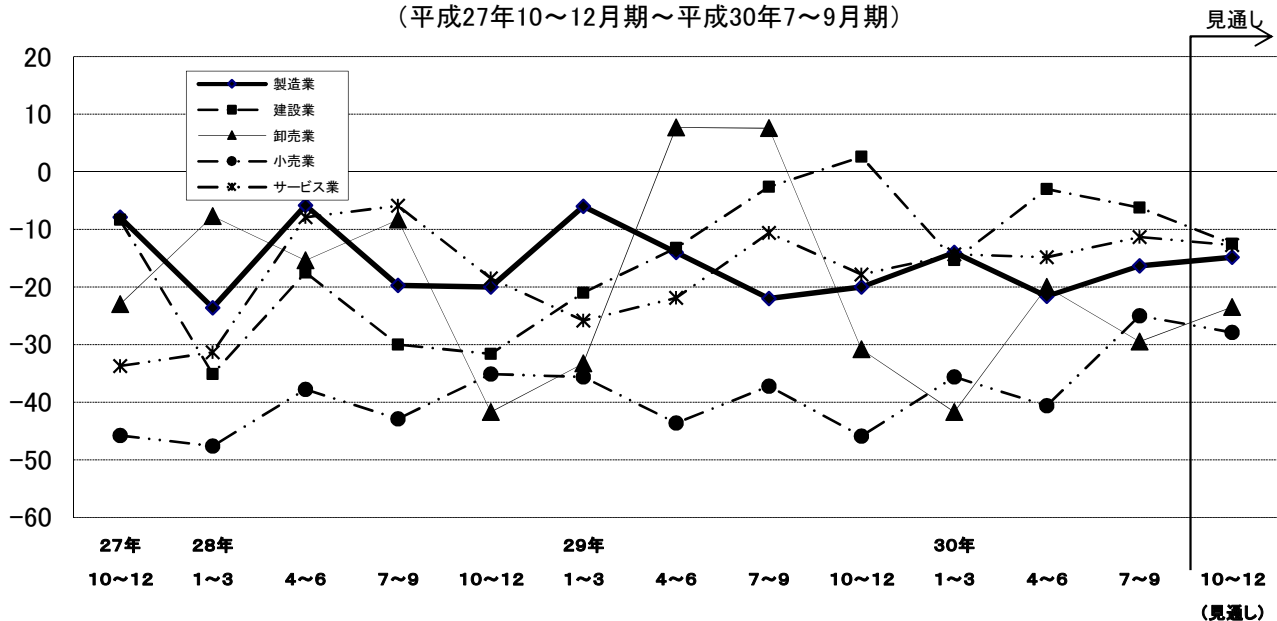
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
29年7～9月実績	△ 18.2	△ 17.0	△ 23.9	△ 23.2	△ 21.8	△ 1.4	△ 17.5	△ 12.1	△ 11.5	△ 19.0
29年10～12月実績	△ 23.6	△ 16.9	△ 25.0	△ 31.4	△ 22.2	△ 1.5	△ 25.6	△ 15.5	△ 13.1	△ 22.5
30年1～3月実績	△ 21.5	△ 11.0	△ 28.5	△ 24.7	△ 9.7	△ 2.2	△ 26.6	△ 13.2	△ 7.4	△ 18.2
30年4～6月実績	△ 21.7	△ 18.8	△ 23.7	△ 29.8	△ 21.8	2.9	△ 25.0	△ 11.7	△ 11.8	△ 24.1
30年7～9月実績	△ 16.5	△ 13.4	△ 18.3	△ 20.6	△ 16.8	△ 0.7	△ 21.5	△ 8.3	△ 8.1	△ 20.2
30年10～12月見通し	△ 17.9	△ 10.6	—	△ 18.3	—	—	△ 23.9	△ 11.4	—	—

産業別（平成30年7～9月期）

	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
製造業	△ 16.3	△ 9.6	△ 20.9	△ 18.4	△ 10.0	△ 10.6	△ 20.8	△ 14.3	△ 8.2	△ 21.2
建設業	△ 6.2	△ 4.1	6.1	△ 3.0	△ 0.6	—	△ 12.1	12.1	8.1	△ 28.1
卸売業	△ 29.5	△ 21.0	△ 23.5	△ 41.3	△ 35.6	35.3	△ 29.4	△ 17.6	△ 25.3	△ 23.5
小売業	△ 25.0	△ 13.1	△ 41.8	△ 32.4	△ 31.2	△ 3.0	△ 32.4	△ 19.7	△ 15.6	△ 7.4
サービス業	△ 11.3	△ 16.3	△ 7.7	△ 15.6	△ 12.9	—	△ 15.5	△ 2.3	△ 6.6	△ 24.6

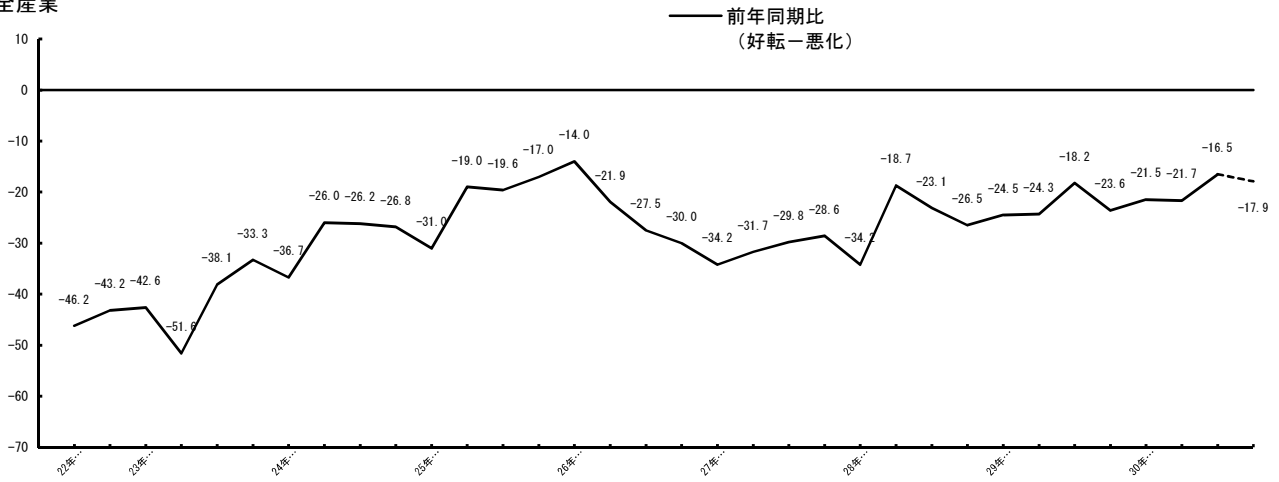
注：製造業の輸出額DI（前年同期比）は 18.2 生産設備過不足DI（今期の水準）は △ 10.2

産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移
(平成27年10～12月期～平成30年7～9月期)



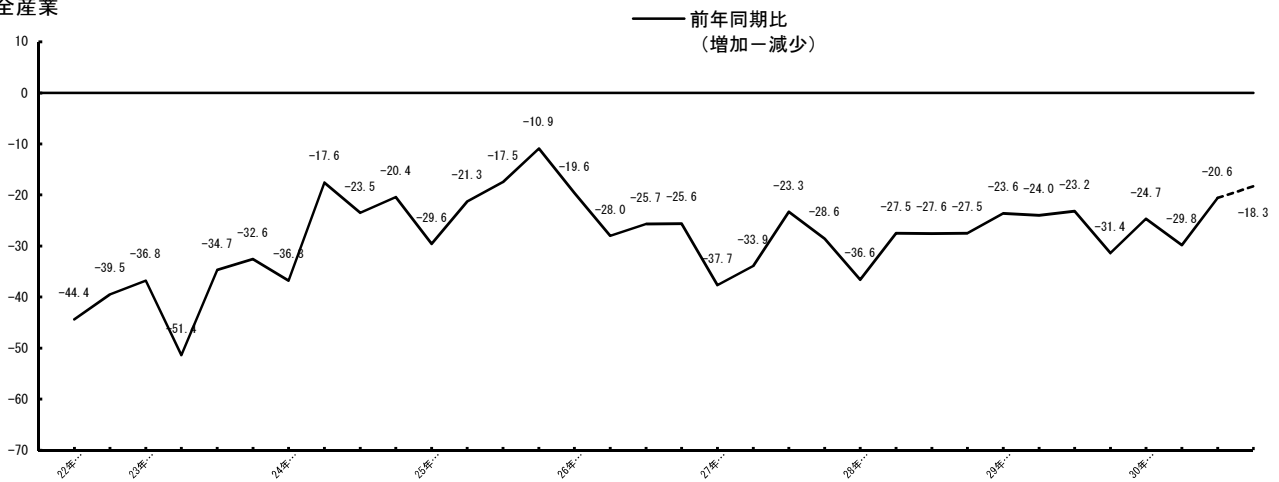
業況判断の動向（D I）

全産業



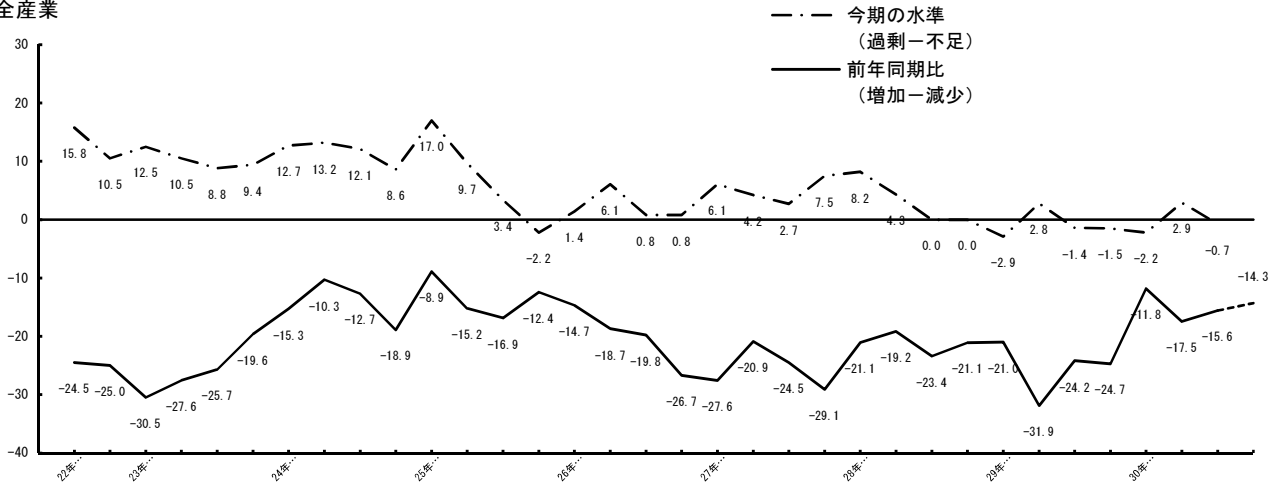
売上額の動向（D I）

全産業



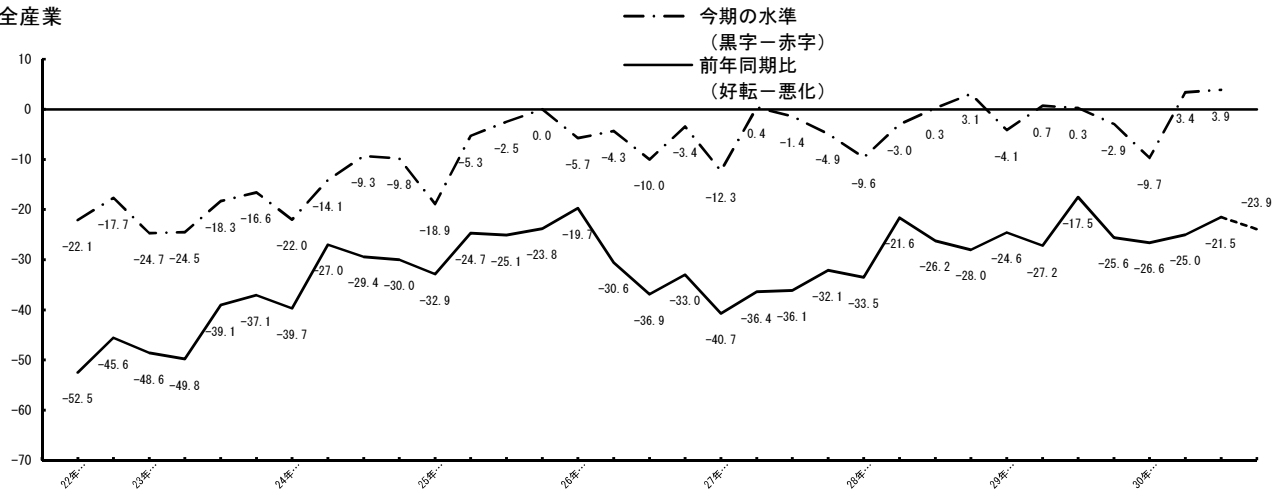
製品・商品在庫の動向（D I）

全産業



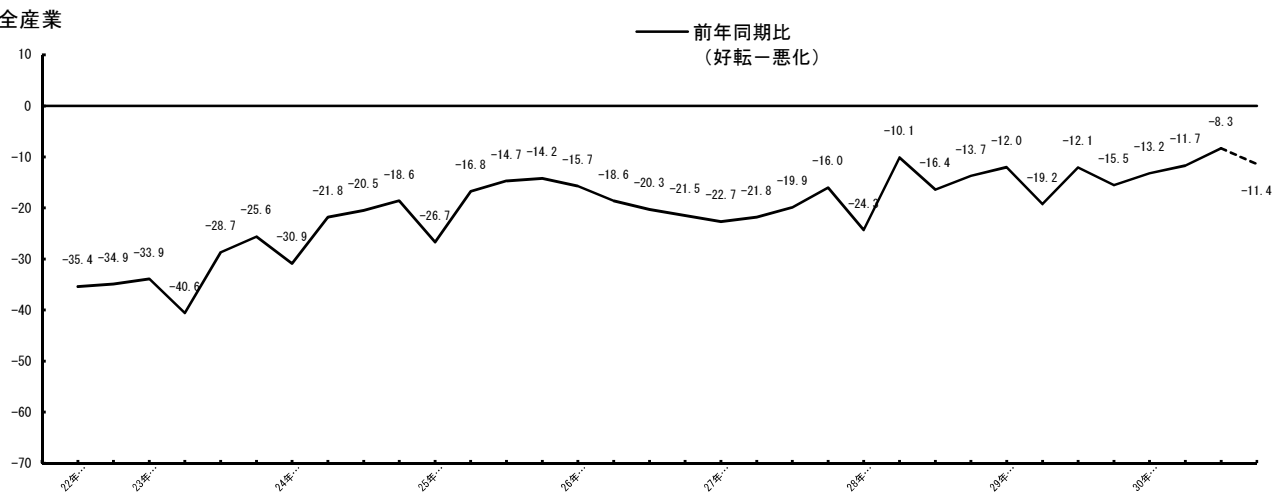
経常利益の動向（D I）

全産業



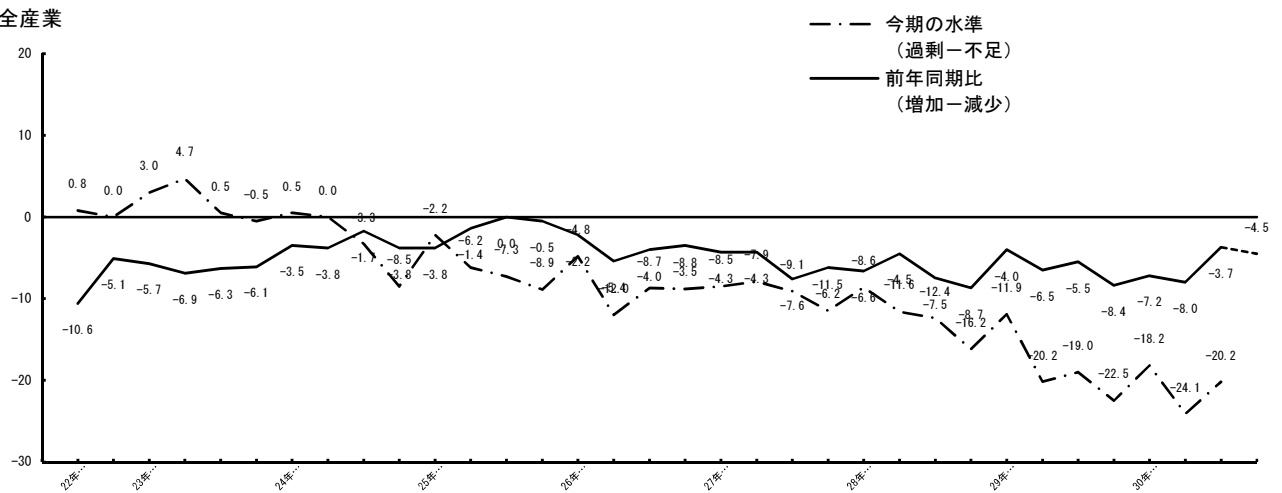
資金繰りの動向（D I）

全産業



従業員数（臨時・パート等を含む）の動向（D I）

全産業



業況判断D I (「好転」 - 「悪化」)

		実 績					来期見通し	
		29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
全 産 業	前年同期比	△ 18.2 (△ 21.3)	△ 23.6 (△ 17.5)	△ 21.5 (△ 25.6)	△ 21.7 (△ 18.9)	△ 16.5 (△ 20.8)	△ 17.9	
	[前期比・季調済]	[△ 17.0] (△ 16.7)	[△ 16.9] (△ 12.7)	[△ 11.0] (△ 15.8)	[△ 18.8] (△ 17.8)	[△ 13.4] (△ 20.9)	[△ 10.6]	
製造業	前年同期比	△ 22.0 (△ 15.2)	△ 20.0 (△ 20.8)	△ 14.0 (△ 19.1)	△ 21.6 (△ 6.1)	△ 16.3 (△ 12.3)	△ 14.8	
	[前期比・季調済]	[△ 14.6] (△ 4.2)	[△ 15.6] (△ 9.0)	[△ 10.5] (△ 4.1)	[△ 14.9] (1.9)	[△ 9.6] (△ 9.3)	[△ 3.7]	
建設業	前年同期比	△ 2.6 (△ 8.1)	2.6 (8.1)	△ 15.3 (△ 23.6)	△ 3.0 (△ 13.1)	△ 6.2 (△ 12.1)	△ 12.5	
	[前期比・季調済]	[6.6] (△ 8.9)	[△ 14.0] (△ 3.6)	[△ 4.7] (△ 13.2)	[△ 3.7] (△ 25.8)	[△ 4.1] (△ 8.9)	[△ 1.9]	
卸売業	前年同期比	7.6 (△ 15.4)	△ 30.8 (7.7)	△ 41.7 (△ 23.1)	△ 20.0 (△ 27.3)	△ 29.5 (△ 13.4)	△ 23.5	
	[前期比・季調済]	[△ 28.5] (△ 6.2)	[△ 21.8] (9.4)	[△ 17.8] (△ 8.6)	[△ 43.4] (△ 15.8)	[△ 21.0] (△ 14.3)	[△ 24.7]	
小売業	前年同期比	△ 37.2 (△ 32.5)	△ 45.9 (△ 31.5)	△ 35.6 (△ 37.8)	△ 40.6 (△ 29.1)	△ 25.0 (△ 39.1)	△ 27.9	
	[前期比・季調済]	[△ 27.4] (△ 29.1)	[△ 26.8] (△ 20.8)	[△ 24.1] (△ 21.2)	[△ 31.1] (△ 32.7)	[△ 13.1] (△ 31.2)	[△ 16.3]	
サービス業	前年同期比	△ 10.6 (△ 20.5)	△ 17.8 (△ 17.7)	△ 14.3 (△ 20.0)	△ 14.8 (△ 19.1)	△ 11.3 (△ 16.0)	△ 12.7	
	[前期比・季調済]	[△ 17.5] (△ 16.4)	[△ 8.6] (△ 19.7)	[△ 1.7] (△ 14.7)	[△ 16.7] (△ 13.6)	[△ 16.3] (△ 25.2)	[△ 14.7]	

注：()内は1期前における当期見通し

業況水準判断D I (「良い」 - 「悪い」)

	今 期 の 水 準				
	29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全 産 業	△ 23.9	△ 25.0	△ 28.5	△ 23.7	△ 18.3
製造業	△ 24.0	△ 16.0	△ 16.0	△ 34.0	△ 20.9
建設業	△ 10.3	△ 12.8	△ 30.8	△ 6.1	6.1
卸売業	△ 23.1	△ 38.5	△ 58.4	△ 24.9	△ 23.5
小売業	△ 40.5	△ 48.8	△ 43.9	△ 38.1	△ 41.8
サービス業	△ 15.8	△ 13.8	△ 17.6	△ 13.6	△ 7.7

売上額D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し	
		29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
全産業	前年同期比	△ 23.2 (△ 22.6)	△ 31.4 (△ 23.8)	△ 24.7 (△ 29.0)	△ 29.8 (△ 18.4)	△ 20.6 (△ 23.0)	△ 18.3	
	[前期比・季調済]	[△ 21.8]	[△ 22.2]	[△ 9.7]	[△ 21.8]	[△ 16.8]	[—]	
製造業	前年同期比	△ 18.0 (△ 12.0)	△ 24.0 (△ 24.0)	△ 24.0 (△ 24.0)	△ 35.3 (△ 6.0)	△ 18.4 (△ 3.9)	△ 18.8	
	[前期比・季調済]	[△ 13.9]	[△ 25.7]	[△ 8.6]	[△ 10.1]	[△ 10.0]	[—]	
建設業	前年同期比	△ 2.6 (△ 12.9)	△ 10.3 (△ 7.7)	△ 10.3 (△ 20.5)	△ 15.7 (△ 17.9)	△ 3.0 (0.0)	△ 6.1	
	[前期比・季調済]	[△ 19.7]	[△ 15.7]	[△ 7.8]	[△ 15.6]	[△ 0.6]	[—]	
卸売業	前年同期比	△ 30.7 (△ 50.0)	△ 61.5 (7.6)	△ 66.7 (△ 38.5)	△ 18.7 (△ 33.4)	△ 41.3 (△ 12.5)	△ 17.7	
	[前期比・季調済]	[△ 40.9]	[△ 21.5]	[△ 12.1]	[△ 24.4]	[△ 35.6]	[—]	
小売業	前年同期比	△ 37.9 (△ 38.2)	△ 54.0 (△ 36.3)	△ 34.7 (△ 39.5)	△ 36.6 (△ 24.0)	△ 32.4 (△ 43.7)	△ 29.4	
	[前期比・季調済]	[△ 34.7]	[△ 28.3]	[△ 17.4]	[△ 36.9]	[△ 31.2]	[—]	
サービス業	前年同期比	△ 21.0 (△ 14.5)	△ 21.5 (△ 24.2)	△ 17.6 (△ 25.5)	△ 28.1 (△ 18.7)	△ 15.6 (△ 27.0)	△ 14.4	
	[前期比・季調済]	[△ 15.1]	[△ 16.5]	[0.3]	[△ 21.3]	[△ 12.9]	[—]	

注：()内は1期前における当期見通し

売上(加工)数量・客数の動向D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し	
		29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
製造業 売上(加工)数量	前年同期比	△ 22.0 (△ 12.0)	△ 20.0 (△ 24.0)	△ 28.0 (△ 22.0)	△ 33.3 (△ 16.0)	△ 22.5 (△ 9.8)	△ 18.4	
	[前期比・季調済]	[△ 7.4]	[△ 28.6]	[△ 17.5]	[△ 25.7]	[△ 18.5]	[—]	
小売業 客数	前年同期比	△ 54.4 (△ 39.5)	△ 57.9 (△ 41.5)	△ 52.0 (△ 42.1)	△ 50.6 (△ 40.0)	△ 36.8 (△ 46.5)	△ 33.8	
	[前期比・季調済]	[△ 39.6]	[△ 40.0]	[△ 35.1]	[△ 37.2]	[△ 29.5]	[—]	
サービス業 利用客数	前年同期比	△ 16.9 (△ 16.7)	△ 21.5 (△ 27.4)	△ 20.9 (△ 25.8)	△ 27.6 (△ 17.6)	△ 12.4 (△ 25.5)	△ 18.0	
	[前期比・季調済]	[△ 16.8]	[△ 12.4]	[△ 5.3]	[△ 22.9]	[△ 14.3]	[—]	

注：()内は1期前における当期見通し

輸出額D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
製造業	△ 20.0 (△ 10.0)	0.0 (△ 9.1)	0.0 (12.5)	0.0 (0.0)	18.2 (0.0)	18.2

注：()内は1期前における当期見通し

在庫水準判断D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全産業	△ 1.4	△ 1.5	△ 2.2	2.9	△ 0.7
製造業	△ 14.0	△ 12.0	△ 8.1	△ 12.5	△ 10.6
卸売業	30.8	30.8	25.0	31.3	35.3
小売業	1.2	0.0	△ 2.7	7.0	△ 3.0

価格の動向

	仕入単価D I (「上昇」-「低下」)					
	前年同期比					
	29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	
全産業	26.7	22.4	25.4	37.1	30.7	
製造業	47.8	40.0	42.2	45.7	40.9	
建設業	28.2	28.2	23.1	42.4	33.3	
卸売業	30.8	38.5	16.6	43.8	47.1	
小売業	12.7	11.8	12.0	32.4	22.1	
サービス業	27.5	17.8	30.6	33.4	28.2	

		売上単価D I (「上昇」-「低下」)				
		29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全産業	前年同期比	△ 15.2	△ 15.6	△ 6.6	△ 14.2	△ 7.1
	[前期比・季調済]	[△ 13.3]	[△ 13.7]	[△ 1.8]	[△ 15.2]	[△ 11.8]
製造業	前年同期比	6.0	△ 2.0	6.0	△ 9.8	△ 4.1
	[前期比・季調済]	[4.8]	[△ 5.1]	[9.1]	[△ 9.6]	[△ 5.3]
卸売業	前年同期比	0.0	16.7	0.0	18.7	35.3
	[前期比・季調済]	[△ 2.9]	[4.9]	[21.8]	[17.5]	[16.8]
小売業	前年同期比	△ 26.6	△ 26.3	△ 14.7	△ 28.1	△ 14.7
	[前期比・季調済]	[△ 26.2]	[△ 22.2]	[△ 8.7]	[△ 23.3]	[△ 23.7]
サービス業	前年同期比	△ 18.9	△ 18.3	△ 7.7	△ 11.7	△ 11.3
	[前期比・季調済]	[△ 12.0]	[△ 13.3]	[△ 5.9]	[△ 15.8]	[△ 10.7]

経常利益D I (「好転」-「悪化」)

	前 年 同 期 比					
	実 績					来期見通し
	29年 7～9月期	10～12月期	30年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
全 産 業	△ 17.5 (△ 23.0)	△ 25.6 (△ 20.0)	△ 26.6 (△ 27.0)	△ 25.0 (△ 21.6)	△ 21.5 (△ 23.4)	△ 23.9
製 造 業	△ 20.0 (△ 20.4)	△ 26.0 (△ 24.5)	△ 24.0 (△ 18.0)	△ 34.7 (△ 18.0)	△ 20.8 (△ 19.7)	△ 20.8
建 設 業	△ 2.5 (△ 10.2)	△ 2.6 (2.6)	△ 25.6 (△ 25.6)	△ 21.2 (△ 20.5)	△ 12.1 (△ 21.2)	△ 15.1
卸 売 業	46.1 (△ 7.1)	△ 15.4 (8.3)	△ 50.0 (△ 15.4)	△ 12.5 (△ 25.0)	△ 29.4 (△ 26.6)	△ 35.3
小 売 業	△ 39.3 (△ 30.8)	△ 43.4 (△ 35.1)	△ 34.7 (△ 44.0)	△ 32.9 (△ 25.3)	△ 32.4 (△ 30.0)	△ 32.4
サービス業	△ 12.8 (△ 25.3)	△ 21.8 (△ 18.5)	△ 18.7 (△ 20.5)	△ 17.7 (△ 20.4)	△ 15.5 (△ 20.8)	△ 20.2

注：()内は1期前における当期見通し

金融の動向

		29年 7～9月期	10～12月期	30年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
資金繰りD I 「好転」-「悪化」	全産業	△ 12.1 [△ 11.5]	△ 15.5 [△ 13.1]	△ 13.2 [△ 7.4]	△ 11.7 [△ 11.8]	△ 8.3 [△ 8.1]
	製造業	△ 18.0 [△ 5.4]	△ 16.0 [△ 14.8]	△ 6.0 [1.3]	△ 23.5 [△ 13.4]	△ 14.3 [△ 8.2]
長期資金借入難易度 「容易」-「困難」	全産業	[△ 9.5]	[△ 9.1]	[△ 5.8]	[△ 4.9]	[△ 4.0]
	製造業	[△ 11.5]	[△ 6.6]	[△ 15.4]	[△ 6.8]	[△ 3.6]
短期資金借入難易度 「容易」-「困難」	全産業	[△ 7.8]	[△ 9.2]	[△ 6.9]	[△ 1.3]	[△ 0.4]
	製造業	[△ 9.5]	[△ 6.0]	[△ 16.7]	[△ 1.1]	[4.3]
借入金利D I 「上昇」-「低下」	全産業	[△ 2.0]	[△ 4.9]	[△ 8.2]	[0.1]	[0.2]
	製造業	[△ 3.5]	[△ 6.0]	[△ 6.5]	[△ 11.0]	[△ 1.9]

注：[]内は前期比(季調済)、それ以外は前年同期比

従業員数D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	△ 5.5 (△ 4.4)	△ 8.4 (△ 5.3)	△ 7.2 (△ 6.1)	△ 8.0 (△ 8.2)	△ 3.7 (△ 5.8)	△ 4.5
製造業	△ 8.7 (2.3)	△ 15.2 (△ 8.9)	△ 13.4 (△ 2.2)	△ 8.5 (△ 13.3)	△ 4.3 (△ 4.3)	△ 2.1
建設業	2.7 (△ 2.7)	2.6 (5.4)	△ 2.6 (△ 10.5)	△ 3.2 (△ 15.8)	3.3 (△ 3.2)	0.0
卸売業	△ 23.1 (0.0)	△ 15.4 (△ 25.0)	△ 25.0 (7.7)	△ 25.0 (△ 16.7)	△ 5.9 (△ 6.6)	△ 29.4
小売業	0.0 (△ 6.8)	△ 5.7 (△ 1.8)	△ 1.8 (△ 5.8)	△ 7.1 (△ 7.5)	△ 9.1 (△ 8.9)	△ 9.1
サービス業	△ 8.6 (△ 8.3)	△ 10.4 (△ 7.5)	△ 6.7 (△ 8.9)	△ 6.5 (0.0)	△ 1.4 (△ 5.3)	1.5

注：()内は1期前における当期見通し

従業員数過不足D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	29年 7~9月期	10~12月期	30年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全産業	△ 19.0	△ 22.5	△ 18.2	△ 24.1	△ 20.2
製造業	△ 22.7	△ 21.7	△ 20.0	△ 34.8	△ 21.2
建設業	△ 18.4	△ 34.2	△ 21.0	△ 31.3	△ 28.1
卸売業	△ 23.1	△ 30.8	△ 20.0	△ 18.7	△ 23.5
小売業	0.0	△ 5.6	△ 5.5	△ 6.9	△ 7.4
サービス業	△ 30.5	△ 27.2	△ 24.3	△ 28.7	△ 24.6

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100）単位：％

	実 績					来期計画
	29年 7～9月期	10～12月期	30年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
全 産 業	14.3	15.6	11.8	13.7	14.4	13.7
製 造 業	24.4	18.0	16.3	18.4	20.4	22.4
建 設 業	12.8	15.4	12.8	21.9	3.1	9.4
卸 売 業	23.1	23.1	16.7	18.8	13.3	15.4
小 売 業	11.8	8.0	6.9	8.6	12.1	9.4
サービス業	10.9	19.4	12.1	11.5	17.0	13.2

生産設備過不足感D I（「過剰」－「不足」）

	今 期 の 水 準				
	29年 7～9月期	10～12月期	30年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
製 造 業	△ 6.0	△ 4.0	△ 6.0	△ 12.0	△ 10.2

経営上の問題点

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	原材料価格の上昇 19.1 (20.8) 〔 18.8 〕	需要の停滞 14.9 (10.4) 〔 10.4 〕	従業員の確保難 12.8 (18.8) 〔 8.3 〕	熟練技術者の確保難 12.8 (12.5) 〔 12.5 〕	原材料の不足 8.5 (4.2) 〔 6.2 〕
建設業	官公需要の停滞 20.0 (18.8) 〔 25.7 〕	従業員の確保難 16.7 (21.9) 〔 14.3 〕	熟練技術者の確保難 16.7 (12.5) 〔 2.9 〕	請負単価の低下・上昇難 13.3 (12.5) 〔 11.4 〕	民間需要の停滞 13.3 (15.6) 〔 20.0 〕
卸売業	従業員の確保難 26.7 (13.3) 〔 25.0 〕	需要の停滞 20.0 (6.7) 〔 16.7 〕	仕入単価の上昇 13.3 (26.7) 〔 8.3 〕	大企業の進出による競争の激化 6.7 (0.0) 〔 8.3 〕	メーカーの進出による競争の激化 6.7 (6.7) 〔 8.3 〕
小売業	大・中型店の進出による競争の激化 33.3 (30.8) 〔 30.4 〕	購買力の他地域への流出 15.9 (7.7) 〔 20.3 〕	需要の停滞 12.7 (12.3) 〔 18.8 〕	消費者ニーズの変化への対応 11.1 (16.9) 〔 5.8 〕	仕入単価の上昇 11.1 (13.8) 〔 4.3 〕
サービス業	利用者ニーズの変化への対応 21.3 (21.5) 〔 21.5 〕	材料等仕入単価の上昇 16.0 (17.7) 〔 8.9 〕	従業員の確保難 10.7 (8.9) 〔 7.6 〕	需要の停滞 10.7 (8.9) 〔 16.5 〕	店舗施設の狭隘・老朽化 8.0 (8.9) 〔 8.9 〕

注： () 内は前期構成比
〔 〕 内は前々期構成比 いずれも問題点の1位にあげた企業の割合